

後期高齢者医療制度はすぐ廃止

～‘10年江東社保学校に会場満席の98人が参加～

老人保健制度へもどせ

1月18日、江東区社会保険推進協議会主催の江東社保学校が、東京十建支部会館で開かれ、98人が参加しました。中村和司東区副区長、高橋事務局長、小池晃参議院議員の講演があり、紹介しました。



東京広域連合2010年度の黒字の保険料値上げ

東京民医連東部東葛ブロック事務局次長中村和司氏は最初に、民主党が後期高齢者医療制度廃止を4年後の13年に先送りしたこと、都民の怒りが広がっていること述べました。

国の補助金 51.2億円も減らす

中村氏は、東京都広域連合の高齢者医療費は、当初(08年度)見込みを218億円も下回り大幅黒字になったにも関わらず、国は

後期高齢者医療制度廃止は4年後に 民主党の公約違反許せない



日本共産党参議院議員 小池 晃氏

日本共産党小池晃参議院議員は、「政治とカネ」の問題をただすとともに、くらしや医療・介護など社会保障の充実を願う国民の声を国会に届ける決意を表明しました。

と再三対策会議を持ち、後期高齢者医療制度廃止法案を提出して参議院で可決したこと、にふれ、政権をにぎった民主党は「廃止には時間がかかる」と言っていると批判。しかし、今なら職責もデーターもあり、即時廃止ができません。廃止できないのは、国保、協会けんぽ、企業健保、土建国保など医療保険の一元化をしようとするからだと述べました。

区議会報告

江東区2010年度予算案の特徴

2月4日、江東区10年度予算案が発表されました。

一般会計予算総額は1627億3100万円。

歳入は特別区交付金が3億3800万円減、国庫

支出金、都支出金がそれぞれ60億6700万円と16億8300万円増え、区

歳出に示された区政運営の問題点は、人口が増加しているにもかかわらず、定員適正化の名による大幅な正規職員の削減と民間委託

特別区税は人口増を反映し

主なものは小学校の給食調理業務の民間委託が3校

増え、二つの公立保育園を民間委託するなど、子どもへの健全な成長を保障する上で果たすべき区の責任を弱めています。

区民と共産党が求めた要求が盛り込まれる

これまで区民と共産党区

団が求めてきた認可保育園が、年度中に3園新設、定員も366名拡大します。

また認可保育所が10か所366名の定員増となります。教育では中学校特別教室

配布されます。

配布されます。

2010年江東母親大会開催



舞台上に花開く、土建主婦の会レクダンス

「命を生み出す母親は、命を育て命を守ることをのぞみます」

毎年2月11日恒例の江東母親大会が江東総合区民センターでおこなわれました。

午前、子どもたちの歌と踊り、伊原静枝事務局長が挨拶、映画『千羽鶴』(木村莊十二監督)

上映。午後は教育・子育て・ヨガ体操・環境と健康の分科会がおこなわれ決議案が採択されました。

朝聞

2月4日は立春。春とはいえ一番寒い月で、旧暦では年の始まりです。前日3日の夜は年越しの「筋分」。鬼は外、福は内」の掛け声も勇ましく、社寺で豆撒きが行われました。この4日、角界と政界に激震が走りました。

角界では、25回目の優勝を果たしたばかりの朝青龍が、場所中の泥酔、暴力事件が発覚し、横綱の品格を問われて引退を決意して角界を去ることになりました。政界では、民主党小沢幹事長の秘書が3人も政治資金規正法違反で起訴されました。小沢氏本人は被疑者として事情聴取されましたが、嫌疑不十分で不起訴、幹事長役続投を言明しました。しかし、虚偽記載された21億7千万円もの巨額な金繰り懸念が晴れたわけではありません。国民世論では90%が小沢幹事長の責任を厳しく追及しています。一方、この事件を好機として自民党の危険な動きが強まっています。民主党との危険な共通点をあげて、消費税増税、議員定数削減、海外派兵恒久法などとともに、5月の改憲手続き法施行を機に明文改憲へ民主党を抱きこもうと画策しています。国会で「政治とカネ」問題の政治的・道義的責任を明らかにし、さらに政治の反動的逆行を許さない国民的共同と参議院選挙での日本共産党の前進が求められています。

平和・くらし風土記 ④5

労働女塾と帯刀貞代

労働女塾は、1929年（昭和4年）帯刀貞代によって設立されました。設立に向けての訴えは、「今回われら同志数名相はかり、工場地帯たる当亀戸において『労働女塾』を開塾いたしました。従来とかく婦人労働者にかける教育機関の欠を補い、もっぱら婦人闘志の養成を使命として生まれたものにほかなりません」とその目的を明らかにし、教授科目は学科（テキストは婦人と労働組合、プロレタリア経済学）、裁縫、手芸、割烹などでした。

場所は東洋モスリン工場の近く、女工たちは何でも覚えたい気持ちを激しくもって、塾には女工の各番



労働女塾の女工たち
-「江東に生きた女性たち」よりイラスト化-

15人前後、あと先あわせて30人ほどが参加しました。こうした女塾を亀戸住民は支えました。帯刀は「近くの米屋さんがいくらでもただでお米を運んでくれて、…独身の男性がお米を買ってきたり、おかず代をおいていってくれたり」（自叙伝）と、家賃も経費も援助で賄えたと述べています。

東洋モスリンの市街戦を中心にした60日間のたたかいでは、帯刀は女工たちを応援し、また塾は寄宿舎を出た女工の宿泊所ともなりました。帯刀自身も女工たちの英雄的なたたかいに触れ、「（解放運動についての）自分のものの見方、考え方が、余りに安易に流れていたことに気がついた、解放闘争のABCをはっきり知らされた」（同上）と述べ、また社会民主主義幹部の裏切りを見て「ほんとうに労働者階級の味方になることはできない」（同上）と思ったと述べています。

労働女塾は1930年（昭和5年）、東洋モスリン争議の惨敗のなか閉鎖しました。帯刀貞代はその後の活動のなかで検束、拘留され、転向上申書を書き出獄。戦後は婦人労働問題の研究から女性史研究の道に入り、1962年（昭和37年）、新日本婦人の会およびかけ人として結成大会に参加、東京都本部会長などを務めました。

まともに生活できるしごとを！ 人間らしく働きたい！



民主青年同盟都委員 坂口 けいじ

全国青年大集会江東地域実行委員会結成
5・16全国青年大集会に向けて、今年も区労連青年部をはじめ各労組・団体の代表による江東地域の実行委員会が結成されました。第一回実行委員会と「プレ企画」の職場交流会について、実行委員会の坂口けいじさんからの寄稿を掲載します。

いま青年の労働意欲は大変です。青年労働者の半数以上は非正規雇用。ダブルワークやトリプルワークは当たり前。しかも、いつ解雇されるかわからない不安のなかで働いています。また正規で働く青年も成果主義のもとで誰にも相

白け、第一回目的の実行委員会が開かれました。たくさんの人達とつながりを持ち、多くの人達を実行委員会を結集して一緒に集会を成功させるために、1000人の仲間に参加しようという目標を決め、「プレ企画」の職場交流会も、江東地域のパート・アルバイト労働者調査、学習会などを企画して「プレ企画」を行いました。

会議では、個人個人が分断されている社会で、どうやって一人ひとりを結集させ、連帯をつくっていくべきか、かという話になり、「うちの職場では組合に入っていない人達とも実態交流ができるように、たすきコミュニケーションを取るようにしている。それが一番の基本だと思ってる」といって、区職員の保育園で働く仲間からは「自分たちの待遇を良くして欲しい」と、民間の人達の待遇を良くして欲しいという声があがりました。

「プレ企画」は、つながりがあると思っ

ている。わたしは保育園で預かる子どもたちが、預けている母親・父親のことも考える。不安定な雇用や長時間労働・残業を追い込まれるのが嫌で、どうしたら両親とも子育てに参加できるような社会をつくっていくべきか、考えていくことが必要だと思

うな声があがりました。

第一回実行委員会は、江東区職労組合青年部・公共一級労働組合青年部、まかんし労働組合青年部、あさかみ労働組合青年部、都隣教組江東青年部、江東民青同盟の各労



組と青年団体13人が参加しました。次回は3月1日に開かれ「プレ企画」の具体化を進めていきます。

**「プレ企画」
職場交流会
於 魚魯魚魯**

2月10日、全国青年大集会のプレ企画「職場交流会」が開かれました。

交流会では、江東区職労組合青年部、江東土建青年部、まかんし労働組合青年部、東京コミュニケーションユニオン、江東民青同盟など各労組と青年団体30人が参加し、自分達の職場の実態や各労組の取り組みなどを交流しました。

上野のパートで働いている青年からは「職場では残業代を払わないように、タイムカードを勝手に押したりと徹底的に管理されている」というリアルな実態や「今はパートがく仕事が増えて困っている

仲間には正規でも年収200万円にいかない人もいます」という建設業界の実態、学費保育料補助を削減するといった区職員の改革案なども話題になりました。

「春を呼ぶ言葉と講演のタペ」江東文化センター

3月19日（金）18時30分

「春を呼ぶ言葉と講演のタペ」江東文化センター

- 2・3月の行事案内**
- 2月22日（月）18時45分
江東区民集会
 - 会場 江東区東陽公園
 - 会場 江東区大島5公園
 - 2月27日（土）17時30分
春を呼びみんなうたつ会
教育センター大研修室
 - 3月6日（土）13時30分
東京大空襲を語り継ぐついで、カメラアホール
 - 3月11日（木）映画上映会
「あしたの天気になる」
 - 第1回10時30分、第2回14時、第3回19時
 - 江東文化センター
 - 3月12日（金）10時
重税反対江東区民集会、総合市民センター
 - 3月12日（金）19時
江東革新懇談会・新春のついで、文化センター
 - 3月19日（金）18時30分
「春を呼ぶ言葉と講演のタペ」江東文化センター